

◆ [取得価額] の手入力について

(画面例はすべて「PCA 社会福祉法人会計シリーズ バージョンDX」を使用しています。)

減価償却仕訳を直接法で入力している場合、

「決算書」－ [財産目録] には、決算額（期首残高＋期中仕訳の結果）が [取得価額] [貸借対照表価額] に金額が表示されます。

[財産目録詳細設定]－ [取得価額] を手入力することで、

手入力した取得価格より決算額（期首残高＋期中仕訳の結果） [貸借対照表価額] を差し引きし、 [減価償却累計額] を表示します。 [取得価額] [減価償却累計額] [貸借対照表価額] を仕訳から自動集計します。

仕訳例

取得時の仕訳 3,000,000 車両運搬具／普通預金 3,000,000

減価償却仕訳 200,000 減価償却費／車両運搬具 200,000

仕訳例のように直接法で減価償却仕訳をした場合の、「決算書」－ [財産目録] 表示は以下になります。

社会福祉事業 財産目録 令和 4年 3月31日現在						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
1 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
普通預金		-		-	-	△ 3,000,000
			小計			△ 3,000,000
			流動資産合計			△ 3,000,000
2 固定資産						
(2) その他の固定資産						
車両運搬具		-		2,800,000	-	2,800,000
			その他の固定資産合計			2,800,000
			固定資産合計			2,800,000
			資産合計			△ 200,000
			差引純資産			△ 200,000

[取得価額] と [貸借対照表価額] には、仕訳の結果の残高にあたる、2,800,000 が表示され [減価償却累計額] は - の表示になっています。

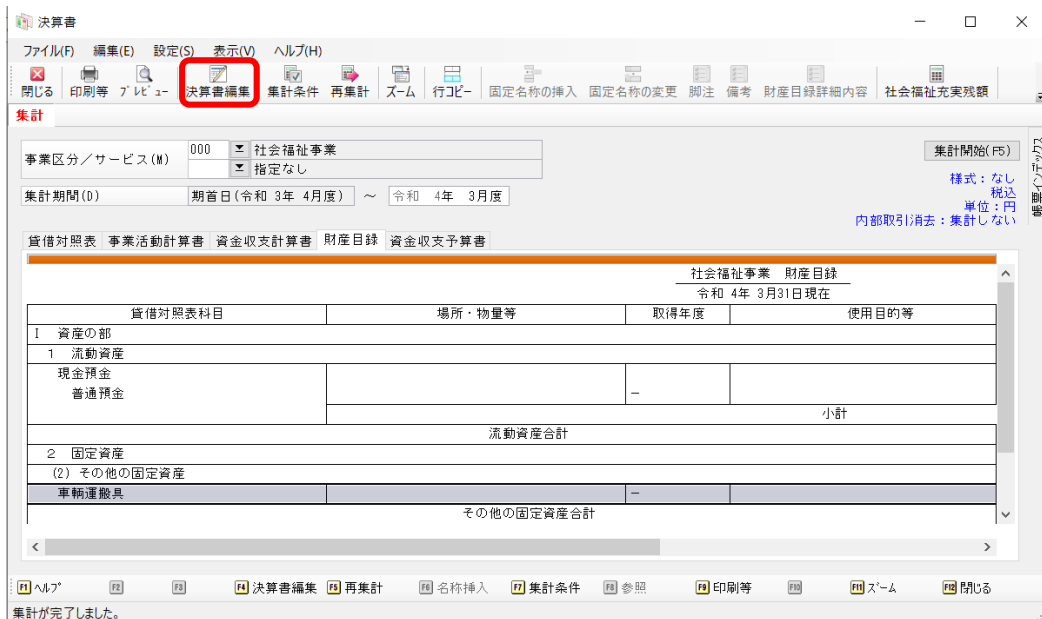
[取得価額] を 3,000,000 であることを下記の方法で手入力することで、手入力した [取得価額] から仕訳の結果の [貸借対照表価額] を差し引き [減価償却累計額] 出力されます。

社会福祉事業 財産目録 令和 4年 3月31日現在						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
1 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
普通預金		-		-	-	△ 3,000,000
			小計			△ 3,000,000
			流動資産合計			△ 3,000,000
2 固定資産						
(2) その他の固定資産						
車両運搬具		-		3,000,000	200,000	2,800,000
			その他の固定資産合計			2,800,000
			固定資産合計			2,800,000
			資産合計			△ 200,000
			差引純資産			△ 200,000

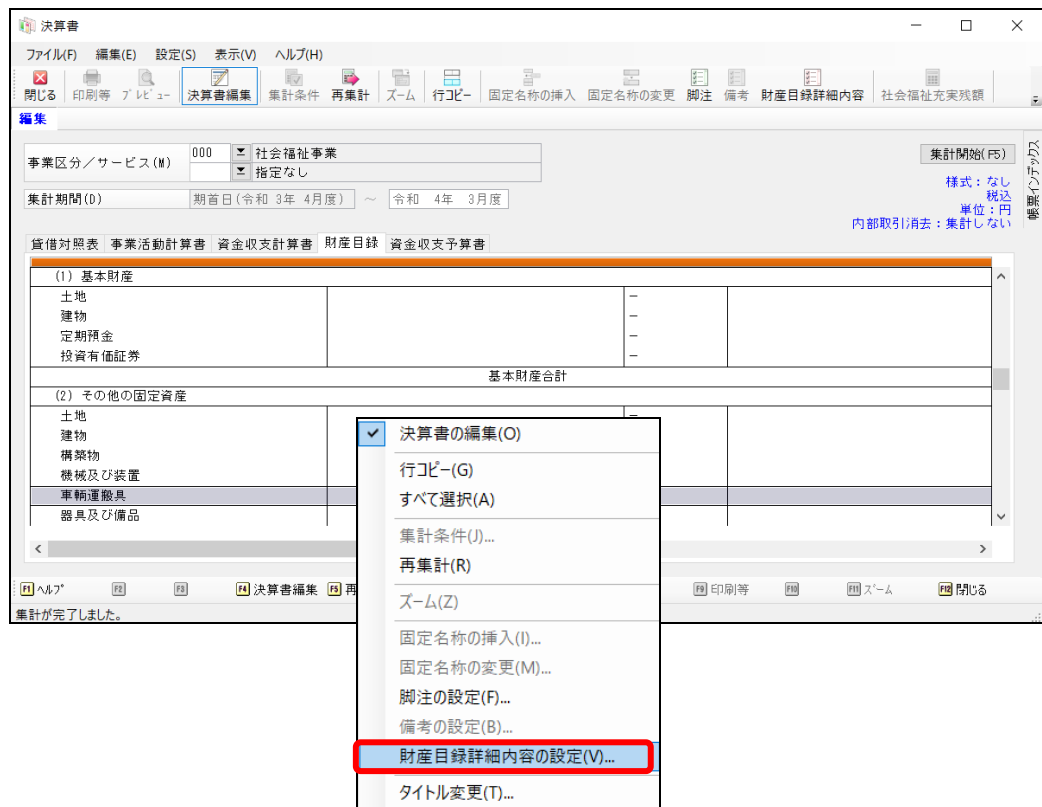
[取得価額] 3,000,000 [減価償却累計額] 200,000 [貸借対照表価額] 2,800,000

【操作手順】

- ① 「決算処理」－「決算書」のメニューバーの「決算書編集」(「編集」－「決算書編集」)をクリックすると以下の画面になります。



- ② 編集したい科目を右クリックで選択し、「財産目録詳細内容の設定」をクリックします。



- ③ [財産目録詳細設定] 画面が開きますので、[取得価額] を [手入力する] を選択し、[取得価額] を入力後、[設定] をクリックしてください。

財産目録詳細内容の設定

事業区分/サービス	000	社会福祉事業
科目	219	車輛運搬具

財産目録詳細内容 (I)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等
車輛運搬具		-	

F6: 行挿入 Shift+F6: 行削除

取得価額 (A)

自動計算する 手入力する

取得価額

初期化

設定(F5) キャンセル

1 / 100

[取得年度] は
こちらに手入力してください。